



四 気 折 々

四気＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

川越町立川越中学校
学校だより 第28号
平成30年1月10日

【吹奏楽部表彰】

New year is here. (和訳) 新年がやってきた

17日間にわたる冬休みを終え、子どもたちは元気に、そして清々しい表情で登校してきました。登校後の子どもたちは、屈託のない笑顔で、新年のあいさつを交わし、平成29年度のまとめとなる3学期をスタートさせました。冬休み中、大きな事故やけが・大病に見舞われず、全生徒が3学期を迎えられたことにつきまして、保護者の皆様の安全及び健康管理に感謝申し上げます。

さて、3学期に登校する日数は、3年生は44日間、1,2年生は54日間です。川中生のみなさんは、この限られた1日1日を大切に過ごし、最善の努力を継続していくことで、3年生は素晴らしい卒業式を、そして、1,2年生は素晴らしい修了式を迎えることができるようにしてください。

本校教職員は、昨年同様、全校生徒一人一人の健やかな成長を願い、指導・支援に努めてまいりますので、保護者の皆様には、本校の教育活動に対するご理解・ご協力をお願いいたします。併せて、まだまだ寒さ厳しい日々が続くため、ご家庭におかれましても、お子様の体調管理にご留意いただきますようよろしくお願いいたします。



【しっかり話を聴く生徒たち】



約40年、先に生まれただけの僕

昨日9日(火)1限目に始業式を行い、3学期をスタートしました。校長講話の際、体育館に会した全校生徒が集中して聴く姿を壇上から確認することができ、身が引き締まる思いでした。なお、校長講話では、新年の抱負を表す4文字の書き初めを披露しました(右側写真)。講話の内容は以下のとおりです。

【新年の抱負(校長書き初め)】



立場上、生徒のみなさんにとって、校長という存在であり続けなければならないが、偉そうに何かを語りかけることが立場を果たすものではないと自戒している。

校長という立場は、保護者・先生・地域の方々に支えられた上で成長し続ける川中生に創ってもらっていると常々思っている。

定年退職までの4年で、予測困難な未来を生き抜く若い君たちに、私のどんな姿を見せればよいのかを元日に考えた。それが「美しく生き、人と為る」姿。「美しく生きる」とは「凡事徹底する」こと、「人と為る」とは「この人みたいになりたいとか、この人のような生き方をしてみたいと他者から認めてもらう」とことと考える。私の抱負をもとに、川中生のみなさんが主体的・協働的に取り組み、将来活躍する人材に成長することを願う。生徒会のスローガン「一瞬・一秒・一度きり ～記憶の中では永遠～」を全校挙げて達成しよう。